

自立生活センター
Pingあおもり

第6号

へばだば

http://www.ping-aomori.jp/ping_page/index.htm

アクセス調査隊
が行く



自立生活センター Pingあおもり
身体障害者小規模作業所スタジオとまと
所在地

〒038-0011

青森市篠田1-8-1 エムズコーポ101

連絡先

tel:017-761-2745

fax:017-761-2746

E-Mail:ping@ping-aomori.jp

発行責任者 佐藤 広則

「へばだば」とは…

アクセス調査隊長西谷が事務所から帰る

時に決まって言う津軽弁。

「じゃあね」というような意味？

9月28~29日、最新の福祉機器を展示した「国際福祉機器展」を見に、東京国際展示場「東京ビッグサイト」に行ってきました。その他、お台場も見てまわったので、一緒に報告します。（M）

国際福祉機器展

国内最大級の福祉機器展示会と言うだけあって、福祉機器だけ、パンフレットだけでした。最新の車椅子や福祉車両など見所たくさんでしたが、展示品以上に来場者が多く、混雑していくゆっくり見ることが出来ませんでした。おまけに、写真撮影禁止。。。ちょっと消化不良になってしまいました。



フジテレビ

要所要所にスタッフがいて、誘導や移動介助をしてくれたので、車椅子でも快適に見学ルートを回ることが出来ました。

撮影スタジオも見学出来ましたが、芸能人はいませんでした。残念。



お台場アクセス情報 ゆりかもめ & 水上バス

「ゆりかもめ」は自動運転が特徴で、車内に乗務員はいません。駅構内も基本的に無人ですが、切符販売機のインターホンで「車椅子」であることを話すと、駅員が来てくれます。とても使いやすい交通機関だと思います。

お台場周辺の移動は「ゆりかもめ」が最適です！



水上”バス”と言う名称ですが、船です。

バリアフリー化されていない「乗り場」もあるので注意が必要ですが、乗り心地はなかなか快適でした。

珍しい?ので、お台場に行ったら一度は乗ってみたいいかがでしょう?



西谷隊長の トイレチェックレポート③

青森駅

受付で取材を申し込むと快く了解して、案内をしてくれました。

青森駅にはトイレが2箇所あります。「ではまず2階から」と隊長共々張り切って行こうとした所「車椅子の人が行くのは難しいですね」と……。そういえば以前青森駅から車椅子の人と電車に乗った時、一般の乗客が通る通路ではなく、荷物用のエレベーターであがって下がってホームまで一直線！だったのを思い出しました。つまり「車椅子の人は2階の車椅子用トイレの前は通りません。」しぶしぶ隊長を1階に残して助手一人で取材してきました。

ここは男子、女子それぞれの押式のドアを通って中に入るところにあります。鍵は手動で横にずらすタイプで不便でした。車椅子の人が使うことがない障害者トイレ……。

1階トイレは一度駅舎から出て左に折れた外に面したところにあります。押しボタン式の自動ドアで中は比較的広かったです。洗面所と便器との間にアコーディオンカーテンがあるので、介助者がいる場合プライバシーは守れるかも？しかし、その分車椅子からの乗り移りなどの時に邪魔になる可能性があると思いました。（報告 助手・阿部）



2階トイレ入り口



2階トイレ内



1階トイレドア



1階トイレ内

パージジュ広場

奥の方にあり通路も狭いので車椅子では少々入り辛く、中も比較的狭いです。夜9時頃まで使用できるということなので、ここで食事をしたり、緊急時の時などに使用できます。

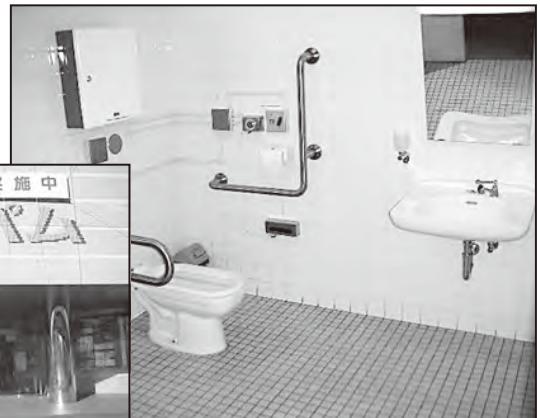


青森県観光物産館アスパム



平日にも関わらず大賑わいでした。津軽弁が飛び交う中、標準語もたまに混じって聴こえたり、我々がトイレを調査する前に、酔っ払った風なおじさんが、「トイレどこですかー」と聞いてきた。そんな、トイレも大賑わいな中、恐る恐る取材をしたわけですが、アスパムでは、一般障害者用と、介護者付き障害者用とそれぞれ造りが違う2つのトイレが設置されています。

押しボタン式の自動ドアで、中は比較的広く、使い易そうです。ねぶたなどの時期は、一般トイレも障害者トイレも関係なく混んでしまうそうなので、障害者を優先にして欲しいです。



平成17年度障害児者

青森県総合福祉展

10/21・22・23

— つくる喜び・この努力 —

マエダ西バイパス店で行われた総合福祉展に県内各地から25の障害児者の施設が参加して、野菜・手芸品・木工品などの販売、絵画や陶芸品など製作品の展示が行われました。

スタジオとまでは06年賀状注文受付とポストカード、似顔絵描き、フレーム付きポストカード印刷等で参加しました。

土曜・日曜は子供連れが多いせいか、他の施設で出していたわたあめには何度も行列ができていました。



「ILP講座」に行ってきた

佐藤 広則

9月と10月に東京の小平市で「ILP講座」を受講してきた。

ILPというのは「自立生活プログラム」のこと、障害者が施設や家族のもとから出て、地域でヘルパーを使って自立して暮らしていくために必要なこと がらを学ぶものだ。

今回の「ILP講座」は、これから自立生活をしていくと思っている障害者を、その「自立生活プログラム」でサポートしていくリーダーを作るための講座で、札幌から大分まで、各地の自立生活センターから7人の代表が参加した。

受講者のほとんどは、家族やまわりの抵抗もあまりなくて、スムーズに自立できたとのことで、私を含めて「自立生活プログラム」は初体験の人ばかりだった。

「自立生活プログラム」は、リーダーとサブリーダーと参加者が、全員で小さく丸く輪になって向き合い、自分の障害のことや家族のことや介助のことなどについて、思うことを互いに述べ合うというのが基本的な内容だが、なかには、買い物したり自立生活をしている当事者のアパートを訪問するというような、外出してみるプログラムもあって、写真のZガンダムは、この講座のリーダーのお宅訪問をしたときに撮らせてもらったものだ。

今回の講座は、リーダーもサブリーダーも経験の豊かな人たちで、充実した内容だったが、来年5月に、こんどは私がリーダーとなって「ILP講座」を開催しようと考えている。どう

なることか
今から悩んでいます。

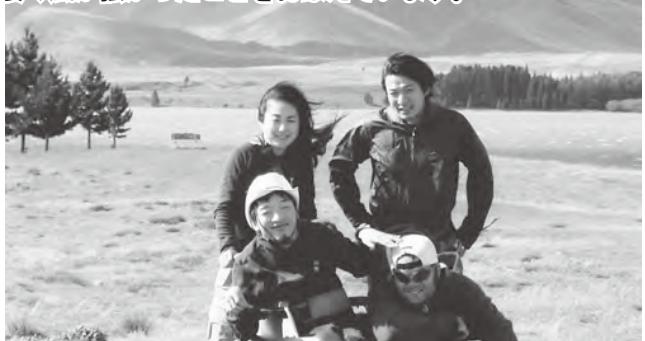


Small Talk —佐野元昭—

はじめまして 今回、初めて自分のコーナーを持つことになりました。佐野元昭です。よろしくお願いします。

第一回目の今回はニュージーランドに旅行へ行ったときのことをお話ししたいと思います。ニュージーランドは南半球の小さな国で、自然がとても豊かです。

また日本とは季節が反対になります。私は2年前の4月はじめに行ったので、秋にあたるかと思います。景色がとても綺麗で、湖の色もとても鮮やかな青色でしたが、凄く風が強かったです。



写真は前列左から 私、友人のBenさん
後列左からBenさんの奥さん、私の兄です。

ニュージーランドの代表的な動物で「キウイ」という夜行性の鳥です。この鳥を観る時は飼育されている暗室のようなところに行き、ひたすらキウイが人前に姿を現すのを待つという

感じだったので、写真は当然、厳禁だったのと、かわりにオブジェと一緒に写真撮影。



ニュージーランドといえば羊。さすがに市街地にはいませんが、少し町を離れるとたくさんいます。放牧されている姿はとても穏やかで、見ているだけで心が和みました。



このほかにもニュージーランドにはたくさんの素晴らしい場所があります。

また、気候風土や生活習慣など、全く違う国で時間をすごす事は、普段の自分の生活からは得られない体験や経験をさせてくれると思います。

皆さんもぜひいろんなところに出かけて、異文化に触れてみてはいかがでしょうか。

小規模作業所フェアが開かれました

10月29日(土) 10:00~20:00

青森市 サンロード青森1階イベントホール

主催・青森県小規模作業所連絡協議会

青森県内の小規模作業所（小規模通所授産施設も含む）

15箇所が参加して初めて開催されました。野菜・お菓子・南部製織で作ったポーチ・ベスト、エコクラフト製品等が並べられ、親子連れ等が立ち寄っていました。

スタジオとまとでは今回は展示のみの参加で、年賀状の見本・ポストカードの見本、会報「へばだば」等を並べました。

小規模作業所への県民の関心を高めようと言うねらいでしたが、2回目、3回目と続いていけばいいと思います。

小規模作業所研修会のお知らせ

障害者自立支援法で「小規模作業所」はどう変わらるのか。

貧困な日本の障害者施策から生まれてきた「小規模作業所」

法内施設ではまかないきれないニーズを満たしてきた作業所が転機を迎えてます。

11月22日(火) 13:00~15:10

青森市文化会館5F研修室

講師・藤井克徳 氏（きょうされん常務理事）

演題

（仮）障害者自立支援法と小規模作業所・授産施設等をめぐる動向と展望

主催・青森県小規模作業所連絡協議会

参加料・無料

申込・連絡協議会事務局

「福祉ショップ西部」内017-788-0144
FAX017-787-2145

締め切りは11月10日ですが・・・

スタッフを紹介します

スタジオとまと

長内 明子さん

我が事務所のダイエット大王です。

(S)

主な仕事はパソコンを使ってポスター・チラシ・会報等、データ作成と印刷物全般を担っています。

(スモテキ) (M)

次回予告

アクセス隊長
西谷冬眠する？！

編集後記

- Mさんと国際福祉機器展に行ってきました。東京だあ、人もわったよげだし、たでもものでっけて横”みだり上みだり首つかれだじやあ～^^(阿部)
- 何年かぶりに下北半島の奥薬研いきました。地元の人の話では今年は色があまり良くないということでしたが、川面に映える紅葉はやはり綺麗でした。(A)
- 今更ながらプレステ2(中古)を買いました。でもまだソフトがありません(>_<)。(M)



スタジオとまとオリジナル

年賀状印刷

の受付を始めました。

スタジオとまとでは、今年も4人の利用者がオリジナル年賀状をデザインしました。

ご希望の方には見本をお送りします。

皆様からのご注文をお待ちしています。



会員募集

自立生活センターPingあおもりでは会員を募集しています。

活動内容

- 自立生活を目指す人を応援する様々な活動
 - ①ピアカウンセリング ②自立生活プログラム
 - ③情報提供、相談業務等
- アクセス調査隊
 - ①トイレチェック ②バリアフリーチェックリポート
- 広報活動
 - ①会報「へばだば」企画編集作成
 - ②ホームページ 企画編集作成

活動日 毎週水曜日 10:00~16:00

金曜日 13:00~16:00 その他随時

会員

障害当事者会員

- 自立生活に興味がある人
- 地域生活をしている人・目指している人など

お助け会員 •会の運営に協力する個人

会費

年 1,000円

特典

会報「へばだば」をお届けします。

行事に参加できます。

事務局までご連絡ください。



自己紹介します

事務所では

最年長ですが、いまいち頼りない存在なので、皆さんに助けられて毎日楽しく仕事をしています。

室内プール、図書館、花や景色の写真を撮ること等々、行きたい所や、やりたい事が沢山あり忙しくしています。もちろんパソコンは毎日やっても、何年やってもあきることがないです。これからもよろしくお願いします。